

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成24年10月18日(2012.10.18)

【公開番号】特開2012-86688(P2012-86688A)

【公開日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【年通号数】公開・登録公報2012-018

【出願番号】特願2010-235507(P2010-235507)

【国際特許分類】

B 6 0 R 21/00 (2006.01)

B 6 0 R 19/48 (2006.01)

B 6 0 R 19/18 (2006.01)

B 6 0 R 21/013 (2006.01)

B 6 0 R 21/16 (2006.01)

【F I】

B 6 0 R 21/00 6 1 0 Z

B 6 0 R 19/48 F

B 6 0 R 19/18 J

B 6 0 R 21/013

B 6 0 R 21/16

【手続補正書】

【提出日】平成24年8月30日(2012.8.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記検知装置は、

前記ヒューズと前記接触スイッチとの間に接続されると共に、該接触スイッチに並列接続される回路であり、

イグニッションスイッチがONのときに、前記検知装置を介して前記ヒューズに電流が流れる場合は、前記内部部材が変形した状態ではないことを検知する一方、電流が流れない場合は、前記内部部材が変形した状態であることを検知することを特徴とする請求項2に記載の変形状態監視装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項3に記載した発明は、請求項2に記載の発明において、前記検知装置は、前記ヒューズと前記接触スイッチとの間に接続されると共に、該接触スイッチに並列接続される回路であり、イグニッションスイッチ(例えば、実施形態におけるイグニッションスイッチ8)がONのときに、前記検知装置を介して前記ヒューズに電流が流れる場合は、前記内部部材が変形した状態ではないことを検知する一方、電流が流れない場合は、前記内部部材が変形した状態であることを検知することを特徴としている。